

1. 適用範囲

本要領書は、ENJWシリーズコネクタの結線作業方法について推奨する。
ただし、アッセンブリメーカーで確立した方法があればこの限りでは無い。

2. 必要工具

- 一般工具
 - ・ 六角レンチ (サイズ1.5)、ニッパ、スケール
 - ・ 電工ナイフ又はシース剥き
- 特殊工具
 - ・ 圧着工具 (日本製線株式会社 NST88)

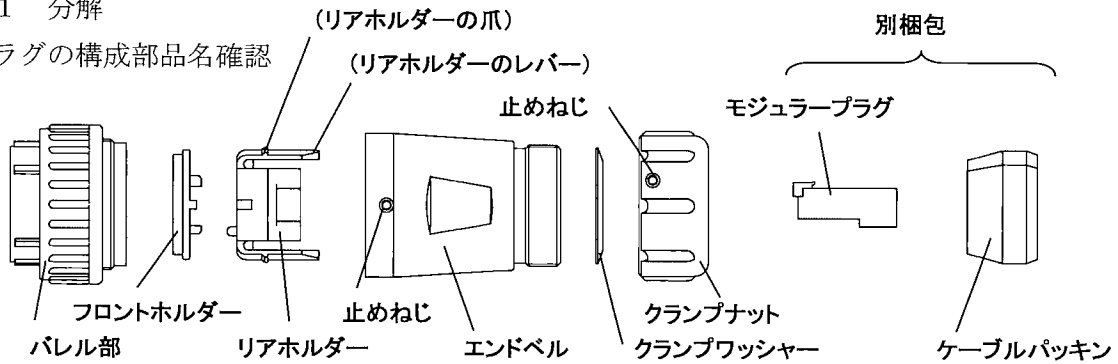
NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

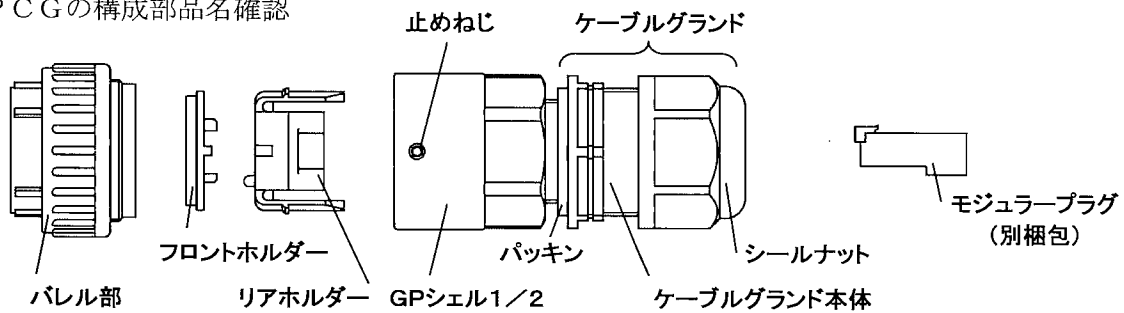
3. 作業手順 (プラグ・PCG)

3.1 分解

プラグの構成部品名確認



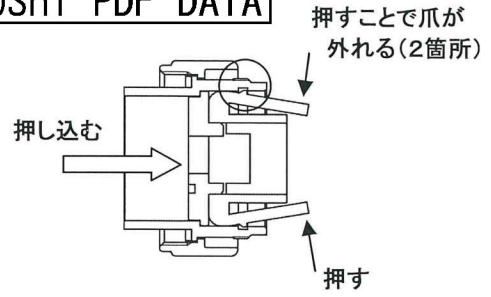
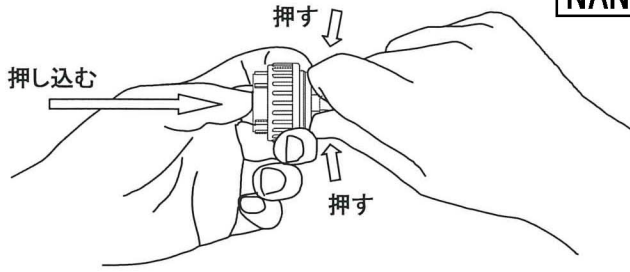
PCGの構成部品名確認



- (1) エンドベルまたはGPシェル側面の止めねじを緩め、エンドベルまたはGPシェルを回転 (左に回す) させ、バレル部より外す。
- (2) クランプナット側面の止めねじを緩め、クランプナットを回してエンドベルより外す (PCGは不要)。
- (3) バレル部から、次頁の要領でフロントホルダー・リアホルダーを外す。

| 変更記事 | 記号 | 日付 | 内容 | 承認 | 査閲 | 作成 | 承認 | 調査 | 起草 |
|------|-----------|----|-----------------------------|-----|----|----|-----------|---------|-----------|
| △ | 2018.1.26 | | クランプナット(シールナット)推奨締付トルク下限値廃止 | SSS | 岡崎 | 佐藤 | SSS | 岡崎 | 佐藤 |
| | 2017.7.12 | | ホルダー形状変更により全文改定 | SSS | 岡崎 | 佐藤 | | 岡崎 | 佐藤 |
| | 記号 | 日付 | 内容 | 承認 | 査閲 | 作成 | 2017.7.21 | 17.7.19 | 2017.7.18 |

NANABOSHI PDF DATA



リアホルダーのレバーを押しながら、フロントホルダーを軽く押し込む。

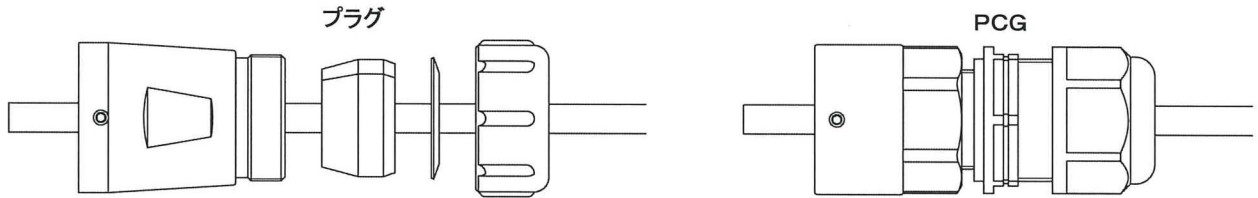
3. 2 仮組立

(1) 分解した各部品を、下図の順にケーブルに通す。

(注) プラグの場合、ケーブル径に適合したケーブルパッキンを使うこと。

各パッキンの適合ケーブル径については図面を参照のこと。

御 参 考 用



3. 3 RJ45シールドモジュラープラグへの結線

(注1) 製品に添付されたモジュラープラグを使うこと。

※結線ミス等によりモジュラープラグが不足した場合、別売りのモジュラープラグ

(NSP524-S NO-LATCH ×5)を使うこと。

(注2) 弊社で販売するモジュラープラグ以外を使う場合には、

必ず右図のようにラッチを根元から切断すること。

※日本製線製 NSP524-Sを推奨

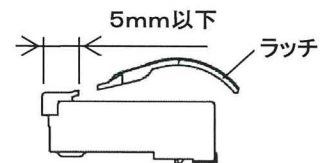


表1 結線表

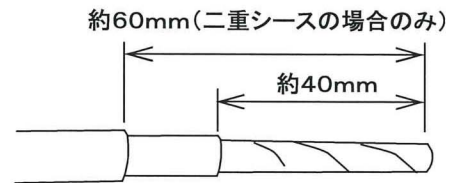
| Pin No. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|---------|--------|---|--------|---|--------|---|--------|---|
| T568A | 白 緑 | 緑 | 白 橙 | 青 | 白 青 | 橙 | 白 茶 | 茶 |
| T568B | 白 橙 | 橙 | 白 緑 | 青 | 白 青 | 緑 | 白 茶 | 茶 |

※以下の手順はT568B結線での説明とする。

(1) ケーブルシースを約40mm除去する。

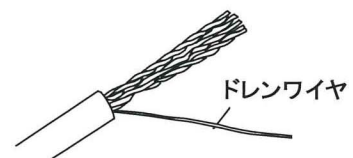
(注1) 二重シースケーブルの場合、外側のシースは約60mm除去すること。

(注2) ケーブルシースが薄く柔らかい場合、より安定した防水性能を得るため、ケーブルパッキンのかかる部分を防水用熱収縮チューブ等により補強すること。

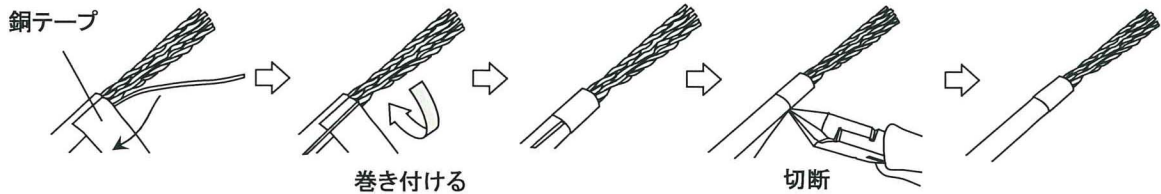


(2) 遮蔽テープ、押え巻きテープを心線の根元で除去する。

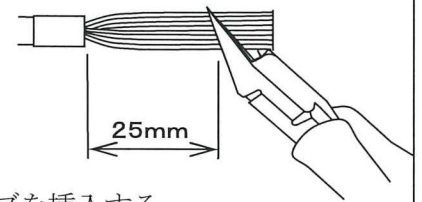
(注) ドレンワイヤや編組は残すこと。



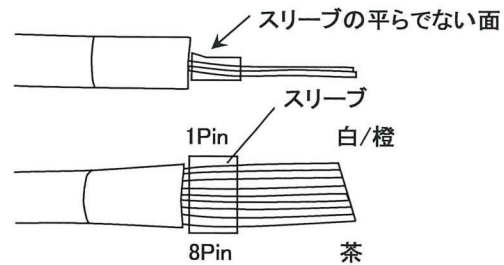
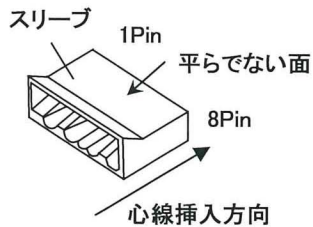
- (3) 添付の銅テープを、粘着面を内側にしてドレンワイヤを包むようにケーブルシースに巻き付けた後、銅テープから出ている余分なドレンワイヤを切断する。
編組シールドのケーブルは、編組を折り返した上に銅テープを巻きつける。



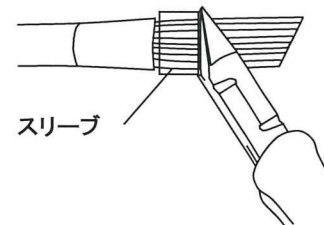
- (4) ケーブルシースの根元まで各対の撚りを戻し、2頁の結線表に従い心線の配列を揃える。
心線を一直列にし、ケーブル根元から25mmほどあけて心線を斜めに切断する。



- (5) 1Pinに白/橙、8Pinに茶色の心線となるようにスリーブを挿入する。
ケーブル根元とスリーブの間になるべく隙間が生じないように、しっかりと挿入する。



- (注) 配線に誤りがないこと。
スリーブの向きを確認すること。

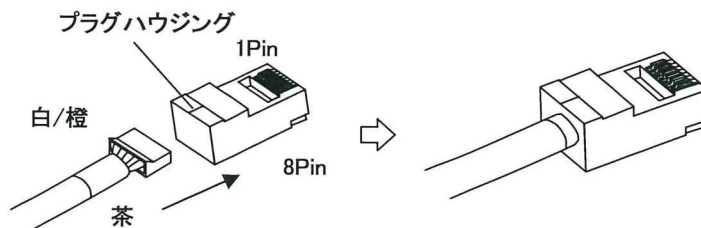


NANABOSHI PDF DATA

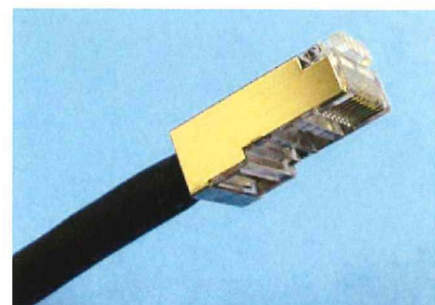
- (6) スリーブの先端で、余分な心線を切断する。

御 参 考 用

- (7) 1Pinに白/橙、8Pinに茶色の心線となるよう、プラグハウジングに挿入する。
(注) 心線の先端がプラグハウジングの内壁に当たるまで、しっかりと差し込むこと。

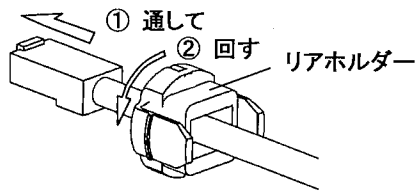


- (8) 圧着工具NST88にプラグハウジング先端をしっかりと奥まで差し込み、一括圧着する。

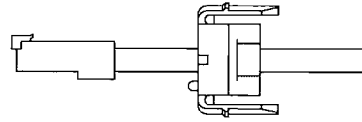


3.4 組立

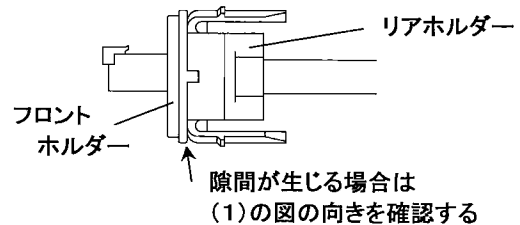
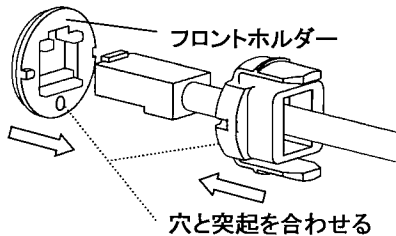
- (1) リアホルダーにモジュラープラグを通し、リアホルダーを90度回す。



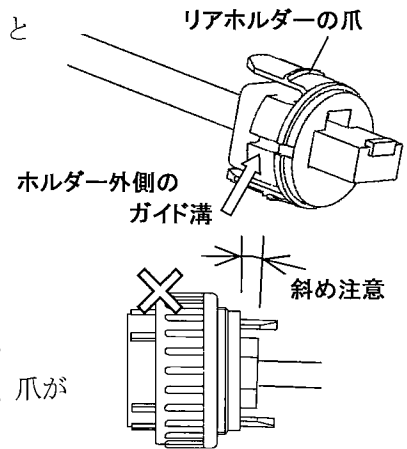
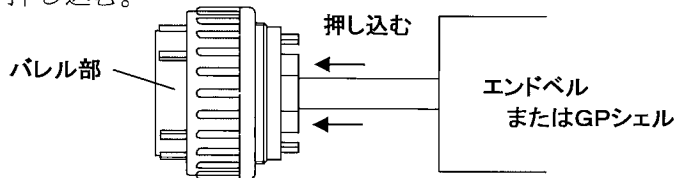
モジュラープラグとリアホルダーの向き



- (2) フロントホルダーとリアホルダーで、モジュラープラグを挟む。



- (3) バレル部内側のガイド突起と、ホルダー外側のガイド溝（右図参照）位置を合わせ、バレル部にリアホルダーをしっかりと押し込む。



- (注) 爪がバレルに確実に入り込んだ事を確認するため、ケーブルを軽くひっぱり、抜けない事を確認すること。バレルに対してリアホルダーが斜めに入っている場合、爪が入りきれていない事が考えられるので、注意すること。

- (4) バレル部を固定し、エンドベルまたはGPシェルを締め付ける（右回りに回す）。

※推奨締め付トルクは6頁の表2、番号1を参照

(注1) エンドベル（GPシェル）を斜めにねじ込まないこと。

(注2) バレル部を回して締め付けないこと。

(注3) 構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。

- (5) エンドベル側面（GPシェル側面）の止めねじを締め付ける。

※推奨締め付トルクは6頁の表2、番号5を参照

NANABOSHI PDF DATA

- (6) GPシェルを固定し、ケーブルグランド本体を締め付ける（PCGのみ プラグは不要）。

※推奨締め付トルクは6頁の表2、番号2を参照

(注1) GPシェルを回して締め付けないこと。

(注2) 構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。

御 参 考 用

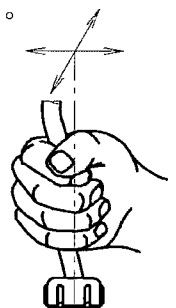
- (7) エンドベル（ケーブルグランド本体）を固定し、クランプナット（シールナット）を締め付ける。

※推奨締め付トルクは6頁の表2、番号3・4を参照

(注1) クランプナット（シールナット）を斜めにねじ込まないこと。

(注2) 右図の様にケーブルをなじませながら、ゆっくり締め付けること。

(注3) エンドベル（ケーブルグランド本体）を回して締め付けないこと。



(8) クランプナット側面の止めねじを締め付ける (プラグのみ PCGは不要)。

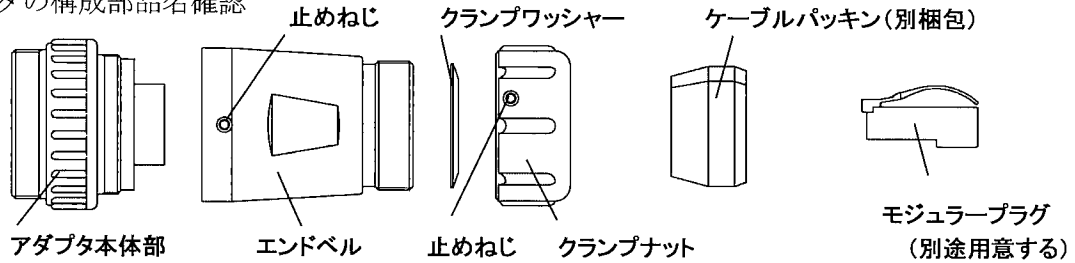
※推奨締め付トルクは6頁の表2、番号5を参照

4. 作業手順 (アダプタ・AdCG)

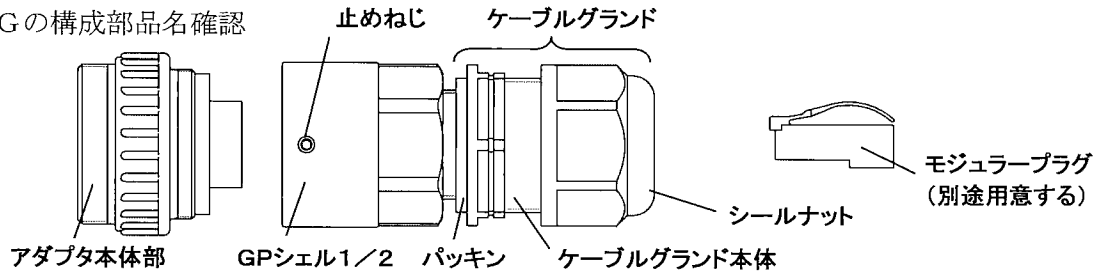
※フランジアダプタ、Ad(F)CGも共通

4.1 分解

アダプタの構成部品名確認



AdCGの構成部品名確認



(1) エンドベルまたはGPシェル側面の止めねじを緩め、エンドベルまたはGPシェルを回転 (左に回す) させ、アダプタ本体部より外す。

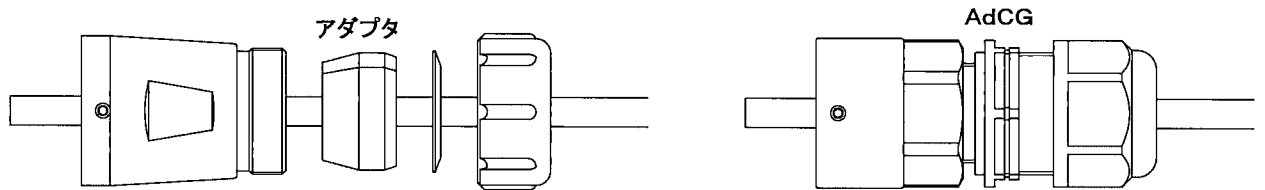
(2) クランプナット側面の止めねじを緩め、クランプナットを回してエンドベルより外す(AdCGは不要)。

4.2 仮組立

(1) 分解した各部品を、下図の順にケーブルに通す。

(注) アダプタの場合、ケーブル径に適合したケーブルパッキンを使うこと。

各パッキンの適合ケーブル径については図面を参照のこと。



4.3 RJ45シールドモジュラープラグへの結線

(1) 結線用に、別途市販のモジュラープラグを準備し、結線方法はモジュラープラグメーカーの推奨する方法に従うこと。

※日本製線製 NSP524-Sを推奨

(注) モジュラープラグのラッチを除去しないこと。

NANABOSHI PDF DATA

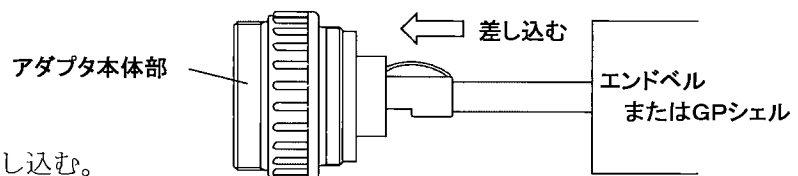
御参考用

4.4 組立

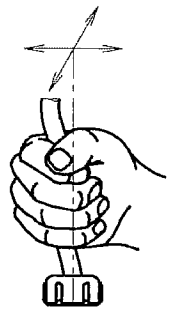
(1) アダプタ本体部に

モジュラープラグを差し込む。

(注) 確実に入り込んだ事を確認するため、ケーブルを軽くひっぱり、抜けない事を確認すること。



- (2) アダプタ本体部を固定し、エンドベルまたはGPシェルを締め付ける（右回りに回す）。
 ※推奨締付トルクは本頁下部の表2、番号1を参照
 (注1) エンドベル（GPシェル）を斜めにねじ込まないこと。
 (注2) アダプタ本体部を回して締め付けないこと。
 (注3) 構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。
- (3) エンドベルまたはGPシェル側面の止めねじを締め付ける。
 ※推奨締付トルクは本頁下部の表2、番号5を参照
- (4) GPシェルを固定し、ケーブルグランド本体を締め付ける（AdCGのみ アダプタは不要）。
 ※推奨締付トルクは本頁下部の表2、番号2を参照
 (注1) GPシェルを回して締め付けないこと。
 (注2) 構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。
- (5) エンドベル（ケーブルグランド本体）を固定し、クランプナット（シールナット）を締め付ける。
 ※推奨締付トルクは本頁下の表2、番号3・4を参照
 (注1) クランプナット（シールナット）を斜めにねじ込まないこと。
 (注2) 右図の様にケーブルをなじませながら、ゆっくり締め付けること。
 (注3) エンドベル（ケーブルグランド本体）を回して締め付けないこと。
- (6) クランプナット側面の止めねじを締め付ける（アダプタのみ AdCGは不要）。
 ※推奨締付トルクは本頁下部の表2、番号5を参照



5. 作業手順（レセプタクル）

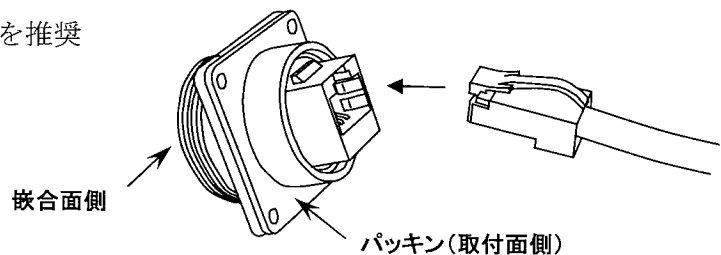
5. 1 RJ45シールドモジュラープラグへの結線

- (1) 結線用に、別途市販のモジュラープラグを準備し、結線方法はモジュラープラグメーカーの推奨する方法に従うこと。

※日本製線製 NSP524-Sを推奨

5. 2 組立

- (1) レセプタクルの取付面側にモジュラープラグを差し込む。



- (注) 確実に入り込んだ事を確認するため、ケーブルを軽くひっぱり、抜けない事を確認すること。

表2 各部品の推奨締付トルク

| 番号 | 締付作業場所 | 推奨締付トルク [N・m] |
|----|---------------------------------|---------------|
| 1 | バレル部（アダプタ本体部） －エンドベル（GPシェル）間 | 1.5～2.0 |
| 2 | GPシェル－ケーブルグランド本体間 | 2.4～2.8 |
| 3 | エンドベル－クランプナット間 | △ 2.0 |
| 4 | ケーブルグランド本体－シールナット間 | △ 2.8 |
| 5 | 止めねじ | 0.2～0.3 |

- (注) 上記はあくまでも参考値であり、使用条件によっては仕様の防水性能を確保できない場合がある為、実際の使用条件下での評価試験を行うこと。

NANABOSHI PDF DATA
 御 参 考 用